

エコナビット PMD47C
PC ツール取扱説明書
第 1 版

本ドキュメントは、テクノネット掲載用に原本を元に編集しております。原本は製品同梱の CD-ROM に収録されており、PC ツールインストールに合わせて PC にインストールされます。

なお原本は使用環境によって表示レイアウトが変化いたしますので、本ドキュメントとレイアウトなどが異なることがあります。

エコナビット PC ツール取扱説明書

必ずお読みください

1. はじめに

「エコナビット PC ツール」とは、パソコン(以下 PC)でご使用いただくエコナビット専用のソフトウェアです。

本取扱説明書では、「エコナビット PC ツール」について説明します。

「エコナビット PC ツール」(以下 PC ツール)には以下の機能が用意されております。
主な機能

「電力管理」

表示機保存データの PC への読み込み
電力データの出力
省エネ支援

「壁紙書き換え」

表示機の壁紙の書き換え
壁紙に用いる画像サイズの自動調整
表示機の壁紙を書き換えた場合のイメージ表示

ご注意

電力管理画面に表示される金額換算値は、あくまでも目安の表示です。
電力会社からの請求金額や余剰電力売電分の振込金額など実際の料金の金額とは異なります。

- ・ [はじめに](#)
- ・ [必ずお守りください](#)
- ・ [エコナビット表示機と PC との接続方法](#)
- ・ [PC ツールの起動方法](#)
- ・ [画面説明](#)
- ・ [電力管理機能の使い方](#)
- ・ [壁紙書き換え機能の使い方](#)
- ・ [PC ツールの終了方法](#)
- ・ [エラーメッセージとその対応](#)
- ・ [警告表示について](#)
- ・ [困った時は](#)

2. 必ずお守りください

安全にご使用いただくために以下の項目を必ずお守りください。

 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項
--	---

- ※  注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ずお守りください。
-  マークは「強制」を表しています。
 -  マークは「禁止」を表しています。

 注意	
	■ 取扱説明書の内容をご確認の上、操作を行う なお、万が一の場合に備え、定期的にバックアップを実施する ● 本製品の使用によるデータの破損、消失および PC 側での不具合に関しては一切保証致しかねます。
	■ 表示機と PC の通信中は USB ケーブルを抜かない ● 通信が途絶え正しく動作ができなくなります。
	■ 表示機と PC の通信中は表示機および PC の電源を切らない ● 通信が途絶え正しく動作ができなくなります。また、データ破損や機器故障の原因にもなります。
	■ USB ケーブルは丁寧に扱う ● 破損した場合、表示機と PC の通信ができなくなる恐れがあります。
	■ 付属の CD-ROM はケースに入れ、大切に保管する ● 付属の CD-ROM が破損した場合、ソフトウェアがインストールできなくなります。

お願い

- USB ケーブル(ミニ B タイプ)は、お客様にてご準備ください。

PC ツールをご使用になるには USB ケーブル(ミニ B タイプ)が必要です。

USB ケーブル(ミニ B タイプ)は同梱しておりませんので、お客様ご自身でご準備ください。

- データ読み込みの間隔は 35 日以上空けないようにしてください。

前回の読み込みから 35 日以上経過した場合は、表示機から 35 日以前の過去のデータが失われますので 35 日以前のデータは PC 側に保存できなくなります。

また、表示機で失われたデータにつきましてはデータの復元を行うことはできません。

連続した発電データを確保するためにも定期的なデータのバックアップを実施してください。

- PC ツールをご使用の際には 2 台以上の表示機を PC に接続しないでください。

2 台以上の表示機から PC ツールの電力管理機能を使用しデータの読み込みを行うと、最後にデータ読み込みを行った表示機のデータだけが保存されます。

また、2 台以上の表示機で壁紙書き換え機能をご使用の場合には、1 台の壁紙を書き換えた後に PC ツールを一度終了し、接続する表示機を変更してから再度 PC ツールを起動していただき、壁紙書き込み機能をご使用ください。

3. エコナビット表示機と PC との接続方法

表示機と PC との接続方法について説明します。
USB ケーブルを準備してください。

1. 表示機と USB ケーブルの接続

表示機の AC アダプタをコンセントに接続した状態で USB ケーブルのミニ B 端子を表示機の USB コネクタに接続してください。
USB ケーブルのミニ B 端子の形状については図 1 を参照してください。

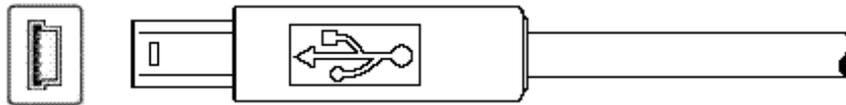


図 1 : 表示機に接続する USB ケーブルミニ B 端子

2. PC と USB ケーブルの接続

PC ツールがインストールされた PC を準備してください。
USB ケーブルの A 端子を PC の USB コネクタに接続してください。
USB ケーブルの A 端子の形状については図 2 を参照してください。

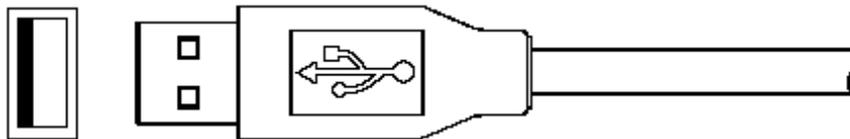


図 2 : PC に接続する USB ケーブル A 端子

※ USB ケーブルの挿入は表示機、PC とともに電源が入ったままの状態で行ってください。

4. PC ツールの起動方法

PC ツールの起動方法について説明します。

1. 表示機と PC を USB ケーブルで接続してください。
2. [スタートメニュー]を選択します。
3. [すべてのプログラム]を選択します。
4. [KYOCERA ECONONAVIT 3] を選択します。

・インストール時にプログラムアイコンを作成する場所を変更している場合は上記と異なります。

5. [エコナビット PC ツール]を選択すると PC ツールが起動します。

-
- ※ 表示機と PC が正しく接続されていない場合は図 3 の警告メッセージが表示されます。
図 3 が表示された場合は、表示機と USB ケーブルの接続および PC と USB ケーブルの接続が確実に
行われているか確認してください。詳細は「[1.1. 困ったときは](#)」を参照してください。
「OK」ボタンをクリックすると「エコナビット PC ツール」が起動します。
※ PC ツールが起動するまでの時間はご使用の環境により異なります。

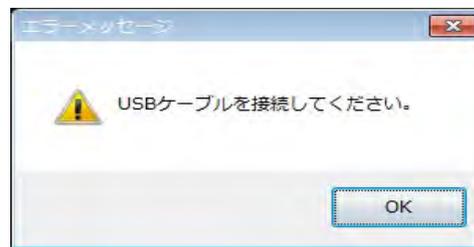


図 3 : 起動時の USB ケーブルの抜けによる警告メッセージ

5. 画面説明

PC ツールのメイン画面について説明します。

(1) メイン画面

メイン画面について説明します。



図4：メイン画面

①… バージョン情報表示

PC ツールのバージョン情報を表示します。

「Copyright」をクリックすると PC ツールのバージョン情報を表示します。

バージョン情報には現在の PC ツールのバージョンを表示します。

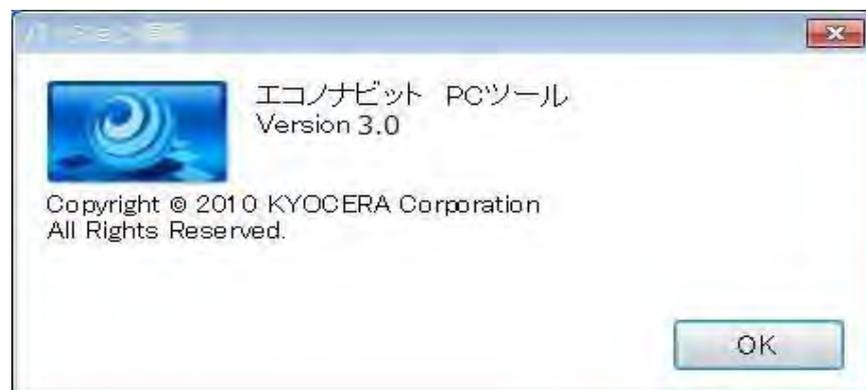


図5：バージョン情報

②… 機能切り替えボタン

機能切り替えボタンには「メイン」、「電力管理」、および「壁紙書き換え」があります。電力管理機能を使用する場合には、「電力管理」ボタンをクリックしてください。壁紙書き換え機能を使用する場合には、「壁紙書き換え」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻る場合には、「メイン」ボタンをクリックしてください。

③… 接続確認

PC と表示機の接続状態を表示します。

PC と表示機が接続されている時 「接続中」

PC と表示機が接続されていない時 「接続なし」



図 6 : ポートの接続状況の違い(左 : 接続中、右 : 接続なし)

④… ポート選択

表示機と PC を接続したときに使用する通信ポートを表示します。

通信ポートは通常自動選択されますが、PC ツールを起動したときに[図 3 : 起動時の USB ケーブルの抜けによる警告メッセージ](#)が表示された場合は通信ポートの自動選択ができません。リストの中より使用する通信ポートを選択してください。

(「[1.1. 困ったときは](#)」の「ポートが自動選択されなかった時は」を参照してください。)

表示機との接続が確認された場合、図 6 (左) のように接続確認に「接続中」と表示します。

⑤… 読み込みボタン

PC と表示機の接続状態を表示します。

表示機に書き込まれている電力データを読み込みます。

※「読み込み」ボタンは電力管理機能でのみ使用します。

詳細は[6. 2. データ読み込み・電力データの出力](#)を参照してください。

⑥… 最終読込

最後に表示機のデータの読み込みを行った日付を表示します。最終読込日付より 35 日以上経過した場合は、表示機から 35 日以前のデータが失われますので、35 日以前のデータは PC に保存できなくなります。

また、表示機で失われたデータにつきましてはデータの復元を行うことができません。

連続した発電データを確保するためには定期的にデータのバックアップを実施してください。

⑦… 終了ボタン

PC ツールを終了します。

詳細は[8. PC ツールの終了方法](#)を参照してください。

6. 電力管理機能の使い方

電力管理画面については、別ページにあります [6. 電力管理機能の使い方](#) を参照してください。

6. 電力管理機能の使い方

6. 1. 電力管理画面

電力管理画面について説明します。

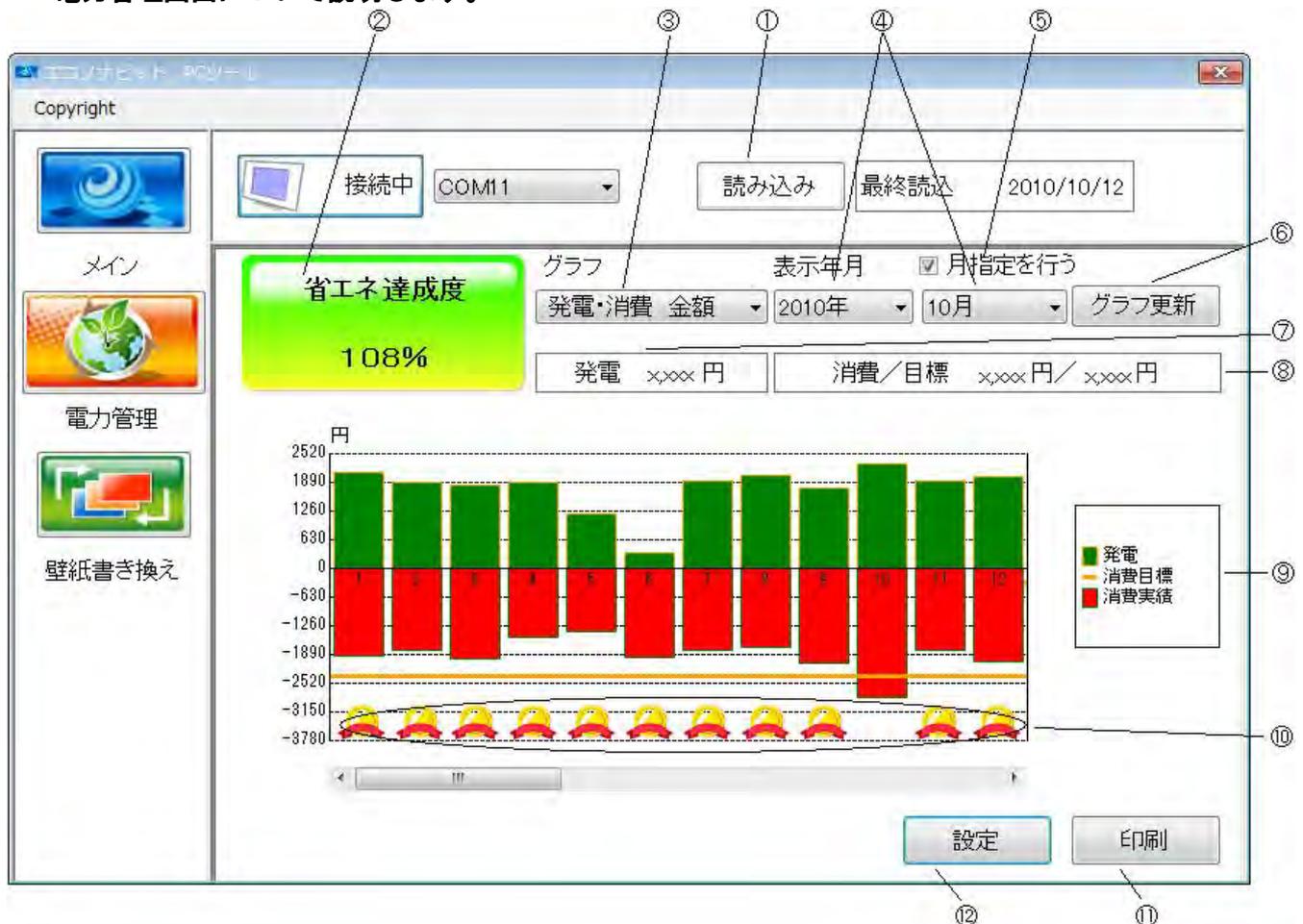


図7：電力管理画面

- ①… 読み込みボタン
表示機に書き込まれている電力データを読み込みます。
詳細は [6. 2. データ読み込み・電力データの出力](#) を参照ください。
- ②… 省エネ達成度／発電売電比率 表示
グラフ選択において、「発電・消費（電力量／金額）」選択時に省エネ達成度を表示します。
省エネ達成度は、「発電・消費 電力量」選択時には、 $\text{発電電力量} \div \text{消費電力量}$ で、「発電・消費 金額」選択時には、 $\text{発電電力量金額換算値} \div \text{消費電力量金額換算値}$ で計算されます。
グラフ選択において、「売電・買電（電力量／金額）」選択時に発電売電比率を表示します。
発電売電比率は、「売電・買電 電力量」選択時には、 $\text{売電電力量} \div \text{発電電力量}$ で、「売電・買電 金額」選択時には、 $\text{売電電力量金額換算値} \div \text{発電電力量金額換算値}$ で計算されます。
- ③… グラフ選択
電力データのグラフ表示形式を選択します。
発電電力量、消費電力量を表示する場合は「発電・消費電力量」を選択します。
発電電力量、消費電力量を金額換算値で表示する場合は「発電・消費 金額」を選択します。
売電電力量、買電電力量を表示する場合は「売電・買電電力量」を選択します。
売電電力量、買電電力量を金額換算値で表示する場合は「売電・買電 金額」を選択します。

- ④… グラフ表示年月指定選択
グラフ表示を行う年および月を指定します。
月の指定は「月指定を行う」チェックボックスがチェックされているときのみ可能です。
「⑤月指定チェックボックス」を参照してください。
2005年1月から2050年12月まで指定可能です。
2回目以降の起動時には前回起動時、最後に表示したグラフの年月が指定されます。
詳細は [6. 3. \(2\) グラフ表示](#) を参照してください。
- ⑤… 月指定を行うチェックボックス
グラフ表示指定の月が指定可能になります。
グラフ表示指定の月を指定するときにはチェックボックスをクリックしてチェックしてください。
チェックされていない場合はグラフ表示の年月指定で月の指定ができません。
- ⑥… グラフ更新ボタン
指定した年月データでグラフの表示を更新します。
年月の指定後に「グラフ更新」ボタンをクリックしてください。
- ⑦… 発電電力量、発電電力量金額換算値表示
グラフ選択において
「発電・消費電力量」選択時に発電電力量を表示します。
「発電・消費 金額」選択時に発電電力量金額換算値を表示します。
「売電・買電電力量」選択時に発電電力量を表示します。
- ⑧… 消費/目標電力量、消費/目標電力量金額換算値、売電/買電電力量、売電/買電電力量金額換算値表示
グラフ選択において
「発電・消費 電力量」選択時にグラフで表示されている期間の消費電力量、消費電力量目標値を表示します。
「発電・消費 金額」選択時にグラフで表示されている期間の消費電力量金額換算値、消費電力量金額目標値を表示します。
「売電・買電 電力量」選択時にグラフで表示されている期間の売電電力量、買電電力量値を表示します。
「売電・買電 金額」選択時にグラフで表示されている期間の売電電力量金額換算値、買電電力量金額換算値を表示します。
- ⑨… 表示グラフの凡例
表示しているグラフの凡例を表示します。
緑色棒グラフ：発電電力量、発電電力量金額換算値を表します。
赤色棒グラフ：消費電力量、消費電力量金額換算値を表します。
黄色棒グラフ：売電電力量、売電電力量金額換算値を表します。
橙色棒グラフ：買電電力量、買電電力量金額換算値を表します。
金色線グラフ：消費電力量目標値、消費電力量金額目標値を表します。
- ⑩… 目標達成表示
一日当たりまたは一ヵ月当たりの消費電力量目標値もしくは消費電力量金額目標値に対して、実際に使用した消費電力量が下回る事が出来た場合に目標達成表示を表示します。
毎日、毎月、目標達成表示が表示されるように、省エネ活動を実践してください。
- ⑪… 印刷ボタン
表示しているグラフを印刷します。
詳細は [6. 4. グラフの印刷](#) を参照してください。

⑫… 設定ボタン

設定画面を表示します。

設定画面では、金額換算値単価、消費電力量目標値、消費電力量金額目標値を設定、変更することができます。

設定画面を閉じるまで、電力管理画面を操作することはできません。

詳細は [6. 3. \(1\) 設定](#) を参照してください。

6. 2. データ読み込み・電力データの出力

表示機からのデータの読み込みおよび電力データの出力について説明します。

PC ツールでは、表示機からデータ読み込みを行います。また、読み込んだ電力データを CSV ファイル形式で出力します。

読み込んだ電力データより、以下の内容が書き込まれます。

- ・ 日間モニタグラフ…30 分ごとに計測された電力の平均値 (単位 : kW)
- ・ 月間モニタグラフ…一日ごとに計測された電力量の積算値 (単位 : kWh)
- ・ 年間モニタグラフ…一ヵ月ごとに計測された電力量の積算値 (単位 : kWh)

接続確認に「接続中」と表示されていることを確認してください。

データの読み込みを行うには「読み込み」ボタンをクリックしてください。

「読み込み」ボタンをクリックすると表示機に保存されているデータの読み込みを開始します。

データの読み込み中は進行状況を別のウィンドウで表示します。

データの読み込みが完了し、「OK」ボタンをクリックすると電力管理画面に戻ります。「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、データの読み込みを中止し、電力管理画面に戻ります。

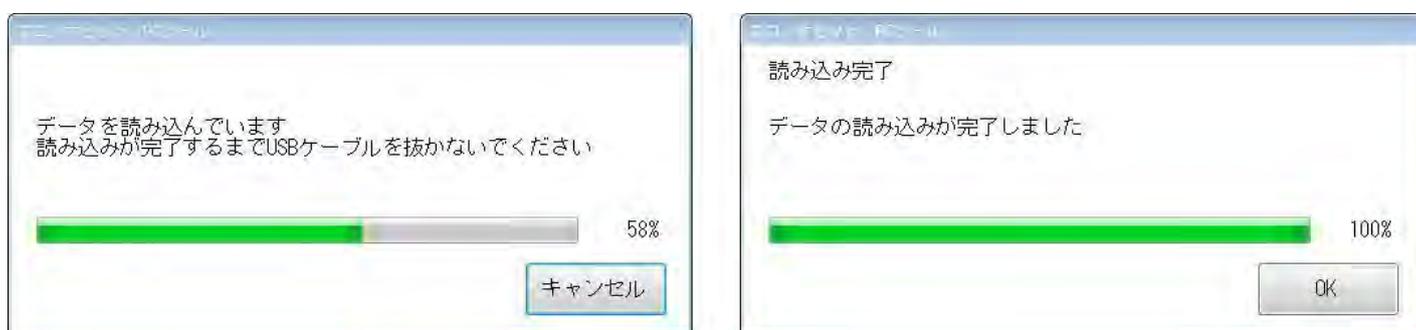


図 8 : データの読み込みウィンドウ (左 : 読み込み中、右 : 読み込み完了)

読み込みが完了し、「OK」ボタンをクリックすると、数秒後に、図 9 のメッセージが表示され、電力データを CSV 形式で出力し、以下の場所に自動保存します。

- ・ Windows 7, Windows Vista の場合
[スタートメニュー]—[ドキュメント]にある、「denryoku_data.csv」です。
- ・ Windows XP の場合
[スタートメニュー]—[マイ ドキュメント]にある、「denryoku_data.csv」です。

「OK」ボタンをクリックすると電力管理画面に戻ります。

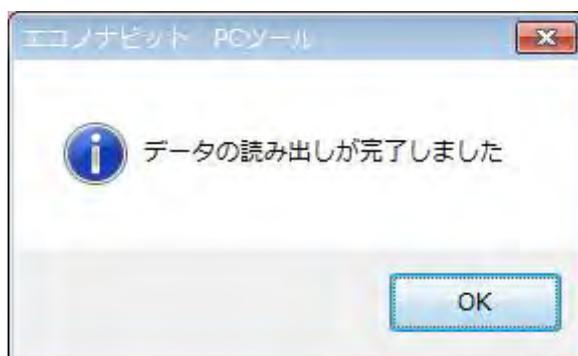


図 9 : データ読み出し完了メッセージ

お願い

- ・ データの読み込みの間隔は 35 日以上空けないようにしてください。
前回の読み込みから 35 日以上経過した場合は、表示機から 35 日以前の過去のデータが失われますので 35 日以前のデータは PC 側に保存できなくなります。
また、表示機で失われたデータにつきましてはデータの復元を行うことはできません。
連続した発電データを確保するためには定期的なデータの読み込みを実施してください。

6. 3. 省エネ支援

電力管理画面の省エネ支援について説明します。

省エネ支援とは電力消費量を金額で表示することができ、毎月1日から末日までの省エネ設定目標をお客様自身が設定することができる機能のことを言います。

(1) 設定

省エネ支援をご使用になるには以下の設定が必要です。

①目標値設定

②料金単価設定

①目標値設定

電力管理画面の「設定」ボタンをクリックしてください。クリックすると図10の目標値設定画面が表示されます。

画面が表示されましたら、目標値の設定を行います。

目標値を電力量で設定したい場合には「電力量で設定する」を、目標値を金額で設定したい場合には「金額で設定する」をチェックしてください。

※チェックすると、チェックした方の数値を変更することができます。

チェックしましたら、月間の数値目標の入力を行います。

設定したい該当月を選択し、目標とする数値を入力してください。

なお、「1月の設定値で一括設定」をチェックすると、1月の目標設定値が全ての月に一括設定されます。

※電力量で設定した場合の金額換算値は、設定した電力量×消費電力単価となります。

金額で設定した場合の電力量換算値は、設定した金額値÷消費電力単価となります。

消費電力単価の詳細については、②料金単価設定を参照してください。

数値の入力が終わりましたら「OK」ボタンをクリックしてください。目標値が設定され、電力管理画面に戻ります。

「キャンセル」ボタンをクリックすると目標値が設定されずに電力管理画面に戻ります。

※ 目標値の設定は目安になります。「電力量」または「金額」で入力した値に対して、月間の日数で割り、小数点以下を切捨てた値に、月間の日数を掛けた値を目標値としています。

例) 1月の目標値を電力量で450kWhと設定した場合、

1日当たりの目標値は、 $450[\text{kWh}] \div 31[\text{日}] = 14.5\cdots[\text{kWh/日}]$ これより、整数値に置き換えると、14[kWh/日]

したがって、月間の目標値は、 $14[\text{kWh/日}] \times 31[\text{日}] = 434[\text{kWh}]$ となります。

電力量で設定する 金額で設定する
 1月の設定値で一括設定

1月	450 kWh	10350 円	2月	450 kWh	10350 円
3月	450 kWh	10350 円	4月	450 kWh	10350 円
5月	450 kWh	10350 円	6月	450 kWh	10350 円
7月	450 kWh	10350 円	8月	450 kWh	10350 円
9月	450 kWh	10350 円	10月	450 kWh	10350 円
11月	450 kWh	10350 円	12月	450 kWh	10350 円

OK キャンセル

図 10 : 目標値設定画面

②料金単価設定

電力管理画面の「設定」ボタンをクリックし、「料金単価」ボタンをクリックしてください。

「料金単価」を選択すると図 11 の料金単価設定画面が表示されます。

画面が表示されましたら、発電電力単価、消費電力単価、売電電力単価、買電電力単価を設定してください。

※電力会社からの伝票などを参考に電力単価を設定してください。

発電電力単価 消費電力単価
 23 円/kWh 23 円/kWh

売電電力単価 買電電力単価
 23 円/kWh 23 円/kWh

注意!
 料金換算はあくまで目安です。
 時間帯にかかわらず、一定の料金単価で計算いたします。
 電力会社からの請求金額や余剰電力売電分の振込金額とは異なります。

OK キャンセル

図 11 : 料金単価設定画面

お願い

設定する料金単価はお住まいの地域によって異なります。料金単価を確認するには、各電力会社ホームページをご覧ください。

また、料金換算値はあくまでも目安です。時間帯にかかわらず、一定の料金単価で計算いたします。電力会社からの請求金額や余剰電力売電分の振込金額など実際の料金の金額とは異なります。

(2) グラフ表示

省エネ支援のグラフ表示について説明します。

グラフには以下の値を表示することができます。

- ・発電・消費電力量
- ・発電・消費電力量金額換算値
- ・売電・買電電力量
- ・売電・買電電力量金額換算値

以上の項目をグラフ選択リストボックスから選択し、「グラフ更新」ボタンをクリックするとグラフが表示されます。

表示できる年月の範囲は 2005 年 1 月～2050 年 12 月までの期間です。

月指定チェックボックスにチェックをすると一カ月のグラフ表示になり、チェックをはずすと一年のグラフ表示になります。一カ月のグラフを表示した場合はスクロールバーを移動させる事によりグラフの表示が移動します。

データが存在しない年月を指定した場合は、グラフを表示しません。

発電・消費電力量金額換算値、売電・買電電力量金額換算値については、設定画面において電力量単価設定を変更することが可能です。

※ 発電・消費電力量金額換算値、売電・買電電力量金額換算値はあくまでも目安の表示です。電力会社からの請求金額や余剰電力売電分の振込金額など実際の料金の金額とは異なります。

設定した目標値に対して、実際に使用した消費電力量が下回る事が出来た場合に目標達成表示を表示します。

毎日、毎月、目標達成表示が表示されるよう活動することで、省エネ活動を実践できます。



図 1 2 : 一カ月のグラフ表示例



図 1 3 : 一年のグラフ表示例

6. 4. グラフの印刷

グラフの印刷について説明します。

グラフの印刷は現在表示されているグラフと凡例、印刷日時を印刷します。
「印刷」ボタンをクリックすると図 14 の印刷設定画面を表示します。



図 1 4 : 印刷設定画面

※印刷を行うには PC ツールがインストールされている PC にプリンタが接続されている必要があります。

7. 壁紙書き換え機能の使い方

壁紙書き換え画面については、別ページにあります [7. 壁紙書き換え機能の使い方](#) を参照してください。

7. 壁紙書き換え機能の使い方

7. 1. 壁紙書き換え画面

壁紙書き換え画面について説明します。



図 15 : 壁紙書き換え画面

- ①… 参照ボタン
表示機に書き込む画像データを選択します。
詳細は [7. 2. ファイル選択方法](#) を参照ください。
- ②… 画像ファイル保存場所の表示
ファイル選択にて指定された画像の保存場所を表示します。直接入力して指定することはできません。
詳細は [7. 2. ファイル選択方法](#) を参照ください。
- ③… プレビュー表示
ファイル選択で選択された画像を表示します。大きいサイズの画像はプレビュー表示のサイズに縮小します。
表示機への壁紙の書き換えはプレビュー画面に表示されている画像を書き込みます。
詳細は [7. 3. プレビュー画面表示](#) を参照ください。
- ④… 壁紙選択
表示機の壁紙の中で書き換える壁紙番号を指定します。
ここで指定した番号の表示機の壁紙をプレビューに表示されている画像データに書き換えます。
詳細は [7. 5. 書き換えを行う壁紙の指定](#) を参照ください。

⑤… スライドショーモードで使用の表示

④壁紙選択で書き換える壁紙番号を No. 1～No. 3 に指定した場合に表示されます。

「スライドショーモードで使用」が表示される壁紙は、表示機の設定により、スライドショーモードに移行した場合に、その壁紙が使用されます。

スライドショーモードは 30 秒ごとに壁紙 No. 1→壁紙 No. 2→壁紙 No. 3→メイン画面の順に表示機の画面表示を切り替えるモードです。詳細は表示機の取扱説明書を参照してください。

⑥… 書き換え開始ボタン

壁紙の書き換えを始めます。

プレビューで表示されている画像データに④壁紙選択で指定した番号の表示機の壁紙を書き換えます。

詳細は [7. 6. 壁紙書き換えの実行](#) を参照ください。

7. 2. ファイル選択方法

壁紙書き換え機能のファイル選択について説明します。

図 15 の「参照」ボタンを押して、お好みの画像データを選択します(図 16)。

選択可能なファイル形式は「BMP」「JPEG」「GIF」ファイルです。

正常に読み込まれるとプレビュー画面に画像データが表示されます。

選択可能な形式以外のファイルを選択した場合は、エラーメッセージ(図 17)が表示されます。

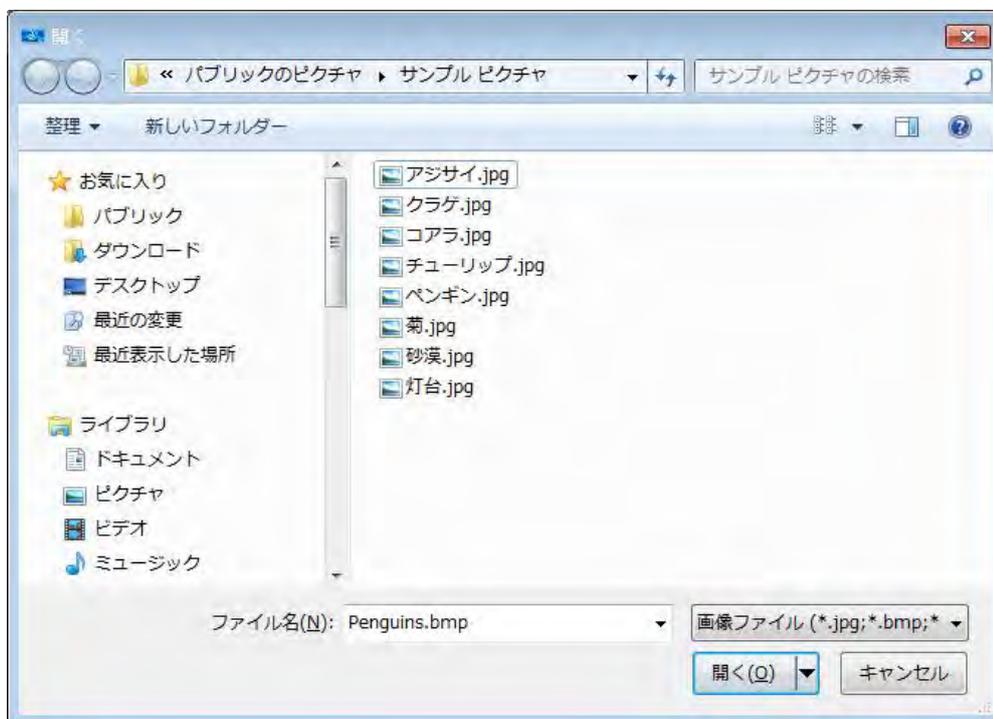


図 16 : ファイル選択画面

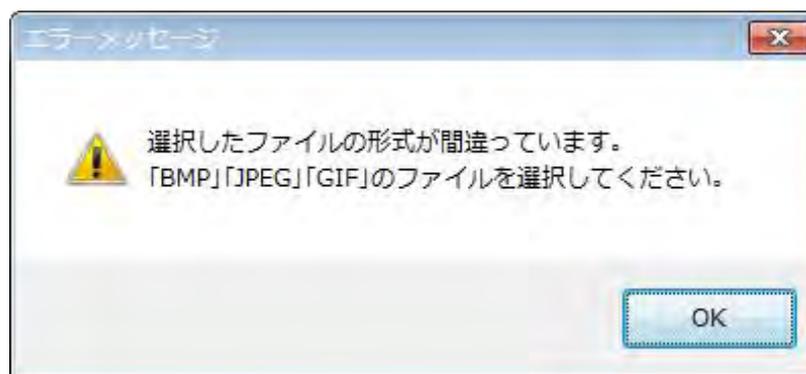


図 17 : 選択可能な形式以外のファイルを選択した場合のエラーメッセージ

7. 3. プレビュー画面表示

壁紙書き換え画像のプレビューについて説明します。

表示機の壁紙は 320×240 ドット、256 色表示です。壁紙書き換え画像として選択した画像データのサイズが表示機の壁紙と異なる場合はサイズを調整します。選択した画像データが 256 色以上の場合は減色します。

1. 選択した画像データの縦横のサイズ比が 4 : 3 でサイズが 320×240 ドット以上の場合は、画像サイズを 320×240 ドットに縮小します。



図 18 : 画像データの縦横のサイズ比が 4 : 3 でサイズが 320×240 ドット以上の場合

2. 選択した画像データの縦横比のサイズ比が 4:3 以外でサイズが 320×240 ドット以上の場合は、縦横のサイズ比を維持したまま 320×240 ドット以下になるように画像サイズを縮小します。縮小した際に横 320 ドットもしくは縦 240 ドット未満の場合は画像周囲が白背景になります。

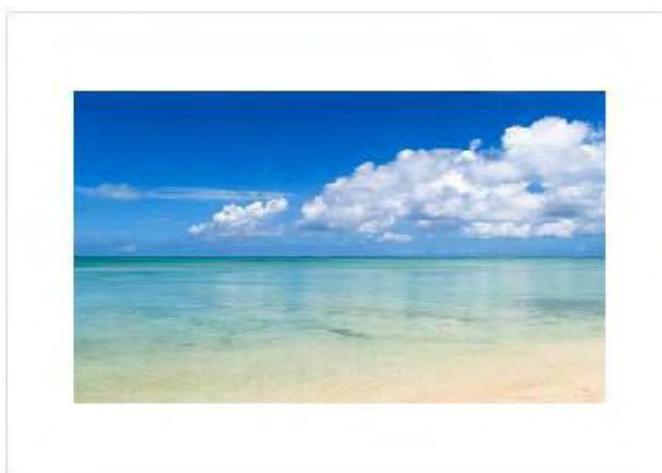


図 19 : 画像データの縦横のサイズが 480×294 ドットの場合

3. 選択した画像データが 320×240 ドット未満の場合は画像を中央に配置し周囲を白背景で表示します。



図 2 0 : 画像データの縦横のサイズが 320×240 ドット未満の場合

7. 4. 壁紙を書き換えた場合のイメージ表示

プレビュー上をクリックすることで、表示機の壁紙を書き換えた場合のイメージ画像を見ることができます。

クリックするたびに、表示機のメイン画面表示スタイルのイメージフレームが切り替わります。



図 2 1 : 壁紙を書き換えた場合のイメージ

7. 5. 書き換えを行う壁紙の指定

表示機の壁紙の中より書き換えを行う壁紙の指定方法について説明します。

書き換えを行う表示機の壁紙番号を「No. 1」から「No. 5」の中より指定してください。

※ 表示機に現在登録されている壁紙の一覧が表示されています。書き換えを行う表示機の壁紙番号を選ぶ際に参照してください。

表示機に壁紙一覧が表示されていない時は、USB ケーブルの接続を確認してください。



図 2 2 : 書き換えを行う壁紙の設定

7. 6. 壁紙書き換えの実行

壁紙の書き換えを行う方法について説明します。

プレビューに画像が表示されていることを確認してから、「書き換え開始」ボタンをクリックしてください。

壁紙選択で指定した表示機の壁紙番号の画像を、プレビューに表示している画像に書き換えます。

プレビューに画像を表示していない(画像ファイルを読み込んでいない)場合に「書き換え開始」ボタンをクリックすると、図 23 のエラーメッセージを表示します。

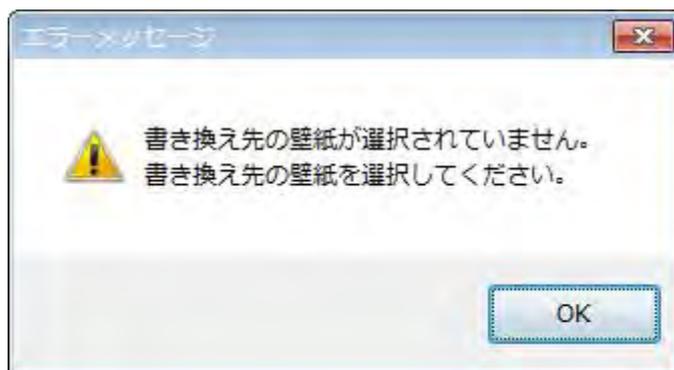


図 2 3 : 「書き換え開始」ボタンクリック時のエラーメッセージ

「書き換え開始」ボタンをクリックする前にプレビューに画像を表示していること、接続確認が「接続中」(選択しているポートが使用可能)であることを確認してください。

壁紙の書き換え中は進行状況を別のウィンドウで表示します。

壁紙画像の書き換えが完了し、「OK」ボタンをクリックすると壁紙書き換え画面に戻ります。「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、壁紙画像の書き換えを中止し、壁紙書き換え画面に戻ります。

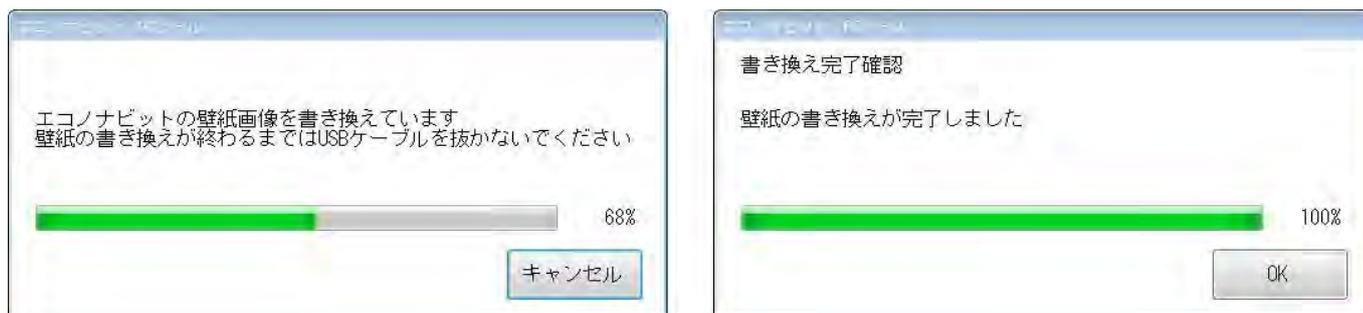


図 2 4 : 壁紙画像の書き換えウィンドウ(左 : 書き換え中、右 : 書き換え完了)

※表示機の壁紙を工場出荷時の壁紙に戻したい場合には、「参照」ボタンをクリックして以下の場所を指定し、上書きして削除した壁紙を再度上書きしてください。

- ・ Windows 7、Windows Vista、Windows XP (32 ビット版) の場合
C:¥Program Files¥KYOCERA ECONONAVIT 3¥Original
- ・ Windows 7、Windows Vista (64 ビット版) の場合
C:¥Program Files (x86)¥KYOCERA ECONONAVIT 3¥Original

 注意



- 壁紙の書き換え中は USB ケーブルを抜かない
また、表示機及び PC の電源を落とさない
- PC と表示機との通信が途絶えるため、正しく動作ができなくなります。

7. 7. 壁紙画像ファイルの保存

壁紙画像ファイルの保存について説明します。

プレビューに表示している画像を保存することができます。保存する場合は壁紙選択時に表示されるメッセージ図 25 の「はい」ボタンをクリックしてください。

壁紙画像の保存先の選択と壁紙画像のファイル名を変更し保存することができます。(図 26 参照)
ファイル形式は「BMP」となります。ファイル名は「無題.bmp」となっていますので画像に合わせて変更してください。

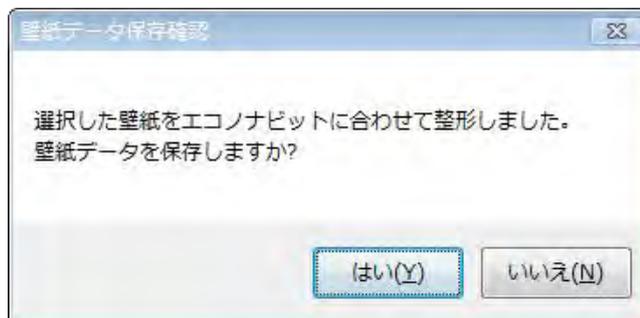


図 2 5 : 画像データの保存確認画面

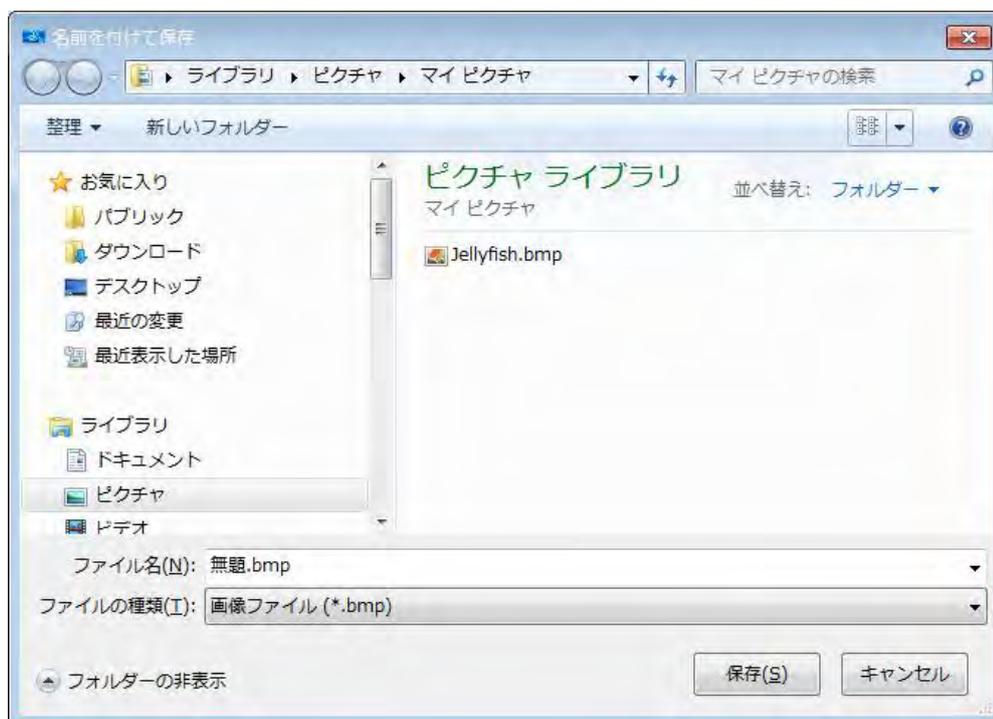


図 2 6 : 画像データの保存画面

8. PC ツールの終了方法

PC ツールの終了方法について説明します。

方法1: 「メイン」ボタンをクリックし、メイン画面の「終了」ボタンをクリックする。

方法2: 「エコナビット PC ツール ウィンドウ」のクローズボックス (右上「×」) をクリックする。

上記いずれかの操作により PC ツールは終了します。

PC ツール終了後、表示機と PC を接続している USB ケーブルを外してください。



注意



■PC ツールの終了はデータの読み込みが行われていない時に行う

表示機からのデータの読み込みを行っている時に PC ツールを終了する事はできません

●データ通信中に終了した場合は、表示機との通信が途絶え正しく動作ができなくなります。

9. エラーメッセージとその対応

PC ツールの使用中に表示されるエラーメッセージに対する対応方法について説明します。

(1) USB ケーブルを接続してください。

PC ツール起動時の USB ケーブルの抜けによる警告メッセージです。
表示機と PC ツールがインストールされている PC の USB コネクタに USB ケーブルを確実に接続してください。

(2) 設定ファイルが存在しないか、値が異なります。

PC ツールをアンインストールし、再度インストールをしてください。
それでも改善されない場合はサービスセンターへご連絡ください。

(3) タイムアウトエラーが発生しました。

PC と表示機との通信でエラーが発生した場合に表示するメッセージです。
USB ケーブルが正常に接続されているか確認してください。
接続確認が「接続中」になっていない場合はポート指定が正しい事を確認してください。
(「[1.1. 困ったときは](#)」の「ポートが自動選択されなかった時は」を参照してください。)

(4) 通信エラーが発生しました。

PC と表示機との通信でエラーが発生した場合に表示するメッセージです。
USB ケーブルが正常に接続されているか確認してください。
接続確認が「接続中」になっていない場合はポート指定が正しい事を確認してください。
(「[1.1. 困ったときは](#)」の「ポートが自動選択されなかった時は」を参照してください。)

(5) ポートが開けません。

表示機が接続されていないポートなど表示機と通信できないポートを選択し、データ読み込みを行った場合に表示するメッセージです。
USB ケーブルが正常に接続されているか確認してください。
接続確認が「接続中」になっていない場合はポート指定が正しい事を確認してください。
(「[1.1. 困ったときは](#)」の「ポートが自動選択されなかった時は」を参照してください。)

(6) 日付設定が正しくありません。もう一度最初からやり直してください。

電力管理画面で表示するグラフの日付設定が正しくない場合に表示するメッセージです。
「6. 電力管理機能の使い方」にある「グラフ表示」に書かれているグラフの表示設定方法を参照して、もう一度グラフを表示してください。

(7) データが書き込みできませんでした。

電力データが消された可能性があります。
(「[1.1. 困ったときは](#)」の「電力データを誤って消してしまった」を参照してください。)

10. 警告表示について

データ読み込みで表示されるメッセージについて説明します。

最後にデータ読み込みを実行した日付から14日以上経過しているとデータの読み込みを促すメッセージが表示されます。

データの読み込みを行ってください。

データ読み込みを行わない場合は経過した日数分の詳細データの抜けが発生します。

失われたデータについては復元することが出来ません。予めご了承ください。

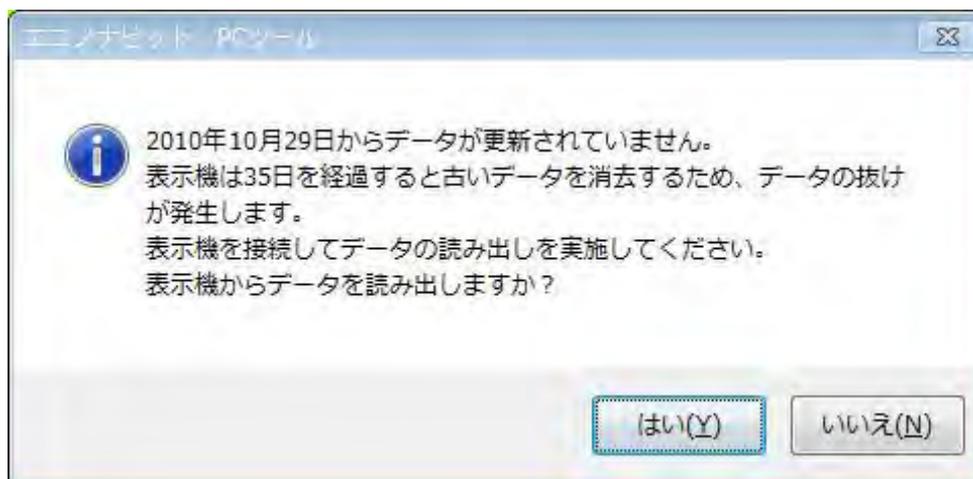


図27：データ読み込みを促すメッセージ

1 1. 困ったときは

PC ツールについて困ったときはこちらを参照してください。

(1) PC ツール起動時の USB ケーブルの抜けによる警告メッセージの表示について

PC ツール起動時に図 3 の警告メッセージが表示された場合は、表示機と PC ツールがインストールされている PC の USB コネクタに USB ケーブルを確実に接続してください。

(2) ポートが自動選択されなかった時は

表示機とご使用の PC との通信を行うポートはご使用の Windows により以下の手順でご確認頂けます。

1. USB ケーブルが表示機とご使用の PC に接続されているかご確認ください。
2. 以下の場所へ移動し、使用するポート (COM*) の確認をしてください。その後、PC ツールにて、確認したポート (COM*) をポートの選択リストから選択してください。

- ・ Windows 7 の場合 (コントロールパネルの表示方法 : カテゴリ)
[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [デバイスマネージャ] - [ポート (COM と LPT)] に移動し、「KYOCERA USB to RS232C Converter Virtual COM Port (COM*)」の COM* を選択ポートに設定してください。
- ・ Windows 7 の場合 (コントロールパネルの表示方法 : 大きいアイコンもしくは小さいアイコン)
[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [デバイスマネージャ] - [ポート (COM と LPT)] に移動し、「KYOCERA USB to RS232C Converter Virtual COM Port (COM*)」の COM* を選択ポートに設定してください。
- ・ Windows Vista の場合 (コントロールパネルの表示方法 : コントロールパネルホーム)
[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [デバイスマネージャ] - [ポート (COM と LPT)] に移動し、「KYOCERA USB to RS232C Converter Virtual COM Port (COM*)」の COM* を選択ポートに設定してください。
- ・ Windows Vista の場合 (コントロールパネルの表示方法 : クラシック表示)
[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [デバイスマネージャ] - [ポート (COM と LPT)] に移動し、「KYOCERA USB to RS232C Converter Virtual COM Port (COM*)」の COM* を選択ポートに設定してください。
- ・ Windows XP の場合 (コントロールパネルの表示方法 : カテゴリの表示)
[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [システム] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [ポート (COM と LPT)] に移動し、「KYOCERA USB to RS232C Converter Virtual COM Port (COM*)」の COM* を選択ポートに設定してください。
- ・ Windows XP の場合 (コントロールパネルの表示方法 : クラシック表示)
[スタートメニュー] - [コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [ポート (COM と LPT)] に移動し、「KYOCERA USB to RS232C Converter Virtual COM Port (COM*)」の COM* を選択ポートに設定してください。

上記の場所に COM ポートが表示されていない場合は、表示機と PC の接続に必要な USB ドライバがインストールされていない可能性があります。

ドライバをインストールするには、ソフトウェアのインストールをやり直してください。

詳細については、インストール説明書を参照してください。

(3) データの読み込みができない

データの読み込みができない原因として USB ケーブルが接続されていないもしくは、選択 COM ポートが正しく設定されていない事が考えられます。

USB ケーブルの接続については「(1) PC ツール起動時の USB ケーブルの抜けによる警告メッセージの表示について」を、ポートについては「(2) ポートが自動選択されなかった時は」を参照してください。

(4) データ読み込み中に PC ツールを終了する事ができない

データ読み込み中は PC ツールを終了する事はできません。

PC ツールを終了するにはデータの読み込みを行っていない状態で「終了」ボタンをクリックしてください。

(5) 最終データ読み込みから 35 日以上経過した場合

最終データ読み込みから 35 日以上経過した場合は、経過した日数分の詳細データの抜けが発生します。

抜けたデータは復元する事はできません。

データの読み込みを定期的に行い、最後のデータ読み込みから 35 日以上経過しないようにしてください。

(6) 電力管理画面のグラフが表示されない

データの無い日付を指定している可能性があります。

データの無い日付を指定した場合は指定した日付のグラフは表示されません。

(7) 電力管理画面のグラフを印刷できない

PC とプリンタが接続されていない可能性があります。

PC とプリンタが接続されているかご確認ください。

プリンタが通常使うプリンタに設定されていない可能性があります。

通常使うプリンタに指定されているプリンタでグラフを印刷してください。

(8) 新しいPCにPCツールをインストールして、今まで通り使用したい

今までお使いのPCから電力データ「econonavit3_data2.bin」を新しいPCに移動していただくことでPCを変更してもご利用が可能になります。

1. 今までお使いのPCから「econonavit3_data2.bin」をコピーしてください。
2. 新しいPCにPCツールをインストールしてください。
3. 新しいPCの「econonavit3_data2.bin」に、今までお使いのPCからコピーしたデータを上書きしてください。

電力データは、お使いのWindowsの環境によって異なります。今までお使いのPCの保存先、新しいPCの保存先は以下をご確認ください。

- ・ Windows 7, Windows Vista の場合
C:¥ProgramData¥KYOCERA ECONONAVIT3¥
※ProgramDataは隠しフォルダになっています。
- ・ Windows XP の場合
C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥KYOCERA ECONONAVIT3¥
※Application Dataは隠しフォルダになっています。

隠しフォルダを表示するには (Windows 7, Windows Vista, Windows XP の場合)

1. Windows 7, Windows Vista をお使いの場合には、エクスプローラを表示中に[Alt]キーを押下します。
2. エクスプローラの[ツール]メニューで、[フォルダ オプション]をクリックします。
3. [表示] タブをクリックします。
4. [ファイルとフォルダの表示]の下にある、[すべてのファイルとフォルダを表示する]をクリックします。

(9) 電力データのバックアップをとりたい

電力データ「econonavit3_data2.bin」はPCツールをお使いのPCに保存されています。保存先については「(8)新しいPCにPCツールをインストールして、今まで通り使用したい」を参照してください。

電力データ「econonavit3_data2.bin」の保存先はお使いのWindowsの環境によって異なります。電力データ「econonavit3_data2.bin」を保存先と異なるハードディスクなど、他の場所にコピーしてください。

万が一、電力データが破損した場合にはコピーしたデータを元の場所に戻してください。

(10) 電力データを誤って消してしまった

電力データ「econonavit3_data2.bin」はPCツールをお使いのPCに保存されています。保存先については「(8)新しいPCにPCツールをインストールして、今まで通り使用したい」を参照してください。

このデータを誤って消してしまった場合は、同じフォルダにある「econonavit3_data2_b.bin」をコピーし、ファイル名を「econonavit3_data2.bin」に変更してください。

電力データ「econonavit3_data2.bin」の保存先はお使いのWindowsの環境によって異なります。※この作業は、PCツールを終了させてから行ってください。

■ 著作権について

本CD-ROMに収録されたソフトウェア、およびデータは著作権法によって保護されています。

それぞれの著作権者および著作権は各プログラムまたは付属のドキュメントに記載されているとおりです。

Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- お使いのPC、環境によっては記載内容と異なる場合があります。